

が、保存不良で立派なものはいくつも出来なかつた。然し一行元氣一ぱい沢山採集整理し、リュックにどっしりつめて昨夜と同じく分校に一泊する。

八月五日、二夜厄介に成つた分校を出て湯上に向ふ。採集物をつめにリュックは大満員で肩にめり込み、肩の痛みと汗で一行やつとの思いで鯉口迄下山する。バスでオー発電所迄行き、九頭龍峠を重いリュックを背にして渡り、発電所の小屋にリュックを預け、軽装で佛ヶ原の景勝をめながら湯上に向ふ。湯上の部落入口の谷川を、前田先生より教えられた採集地めがけて溪流をさか登る。然し夏草と谷川や断崖にへびまうれてどうしても進めず、今一度国道迄引返し再び山道を登る。然し中々目ざす化石は発見されず、漸く附近の畑に仕事をして居る部落の人の案内で転石を発見、更に探究して頁岩の大きい露頭を発見する事が出来た。然し此所は麓と違つて岩石の風化面が少く、我々の採集用具では刃が立たず、期待した化石の採集は充分出来なかつたのは残念であるが、四時三十分の省営バスで帰郷の途についた。

の採集物 しじみの大型のもの(鯉谷)、小型のもの(鯉谷)、かきの類(湯上谷)の前田先生のお話 大野郡の野向村牛ヶ谷、北谷の川合、北六呂師、更に東にのびて五箇村麓、湯上には中世代ジュラの層があり、上部に小和清水産と同じような砂岩層を乗せて居る。この層に含まれる化石は黒色の頁岩中に保存され、麓、湯上では動物化石、牛ヶ谷、野向では植物化石を産する。特に麓の化石は西谷村中島産のしじみ、かきの化石と同じ感じを待ち、下穴野村の伊月に通じなものではなからうかとの事であつた。(荒川九兵衛記)

## 大野郡六呂師原 昆虫採集記

月 日 昭和28年8月10日

指導者 福井大学 堀口竜次郎先生

参加者 博物館関係者 5名

小学校教諭 1名

福井大学生 6名

中学生 3名

小学生 8名

日 程 6時52分 福井発

8時—12時 登山路の採集

12時—14時 高原の採集、ハッチョウトンボの棲息地、並に生態

観察と採集

14 時 - 15 時 堀口先生の講話

15 時 下山

主な採集品

|          |                                       |
|----------|---------------------------------------|
| ムシヒキアブ科  | シオキアブ科 アラメアブ                          |
| スズメバチ科   | オオタネビドロバチ ヒメバチの一種 ハキリバチの一種            |
| ハバチ科     | ニホンカブラバチ                              |
| ミヅアブ科    | ミヅアブ                                  |
| マルハナバチ科  | クロマルハナバチ                              |
| ヒメバチ科    | クロヒメバチ                                |
| コガネムシ科   | コブキコガネ                                |
| ゾウムシ科    | リンゴヒゲナガゾウムシ                           |
| カミキリムシ科  | トラフカミキリ                               |
| ハムシ科     | イチモンジカメノコハムシ コガタルリハムシ イモサルハムシ         |
| ヲサムシ科    | ゼアカゴミムシ ハンミヨウ                         |
| アゲハ科     | キアゲハ                                  |
| ヒロチヨウ科   | キチヨウ ジヤノメチヨウ ウラギンスズヒロウモン<br>メスヒロチヨウモン |
| タテムチヨウ科  | コミスズ オオミスズ                            |
| シジミチヨウ科  | ツバメシジミ                                |
| セセリチヨウ科  | ダイミヨウセセリ                              |
| ヤガ科      | オオトモエ                                 |
| シヤクトリガ科  | ヒメシロスズメオシヤク アトヘリアラシヤク キシタ<br>エダシヤク    |
| ヤママユガ科   | ヤママユガ                                 |
| カギバ科     | ギンモンカギバ                               |
| ウスバカゲロウ科 | ウスバカゲロウ                               |
| ゼミ科      | ニイニイゼミ アブラゼミ                          |
| アワフキムシ科  | マダラアワフキ                               |
| ツノゼミ科    | トビイロツノゼミ                              |
| ハゴロモ科    | ベッコウハゴロモ                              |
| アラバハゴロモ科 | トビイロハゴロモ                              |
| ヤシマ科     | コシボリヤシマ オニヤシマ                         |
| トンボ科     | ノシメトンボ シオカラトンボ オオシオカラトンボ              |
| イトトンボ科   | イトトンボ                                 |

バツタ科 ツチバツタ

ギリギリス科 ヤブギリ

その他 不明 三種

坪田記

## 博物館だより

博物館では昭和29年度に次のような事業を計画しています。  
多少の変更はあると思いますが、詳細はその都度会員にお知らせ致します。

### ○ 採集会

植物 部子山(5月) 厨四ヶ浦方面(6月) 竹田方面(7月) 若狭三十三面山(9月)  
敦賀郡黒河(10月)

昆虫 六呂師原(8月) 足羽山(9月)

貝類 鷹巣方面(6月) 雄島方面(7月) 文珠山(10月)

化石 福井市下市(4月) 雄島(8月) 大野郡面谷鉾山(10月)

海産動物 三方郡(5-6月) 雄島(8月)

### 総合採集

○ 講演会 5.6.7.9.10月各1回 講師交渉中

○ 講習会 創製(1月) 実験(8月)

○ 生物採集品コンクール(9月) 小中学校生徒を対象として

○ 生徒理科研究発表会(9月)

○ 秋の虫を尋ねる会(9月)

○ 博物館少年少女の会結成 福井市小中学生を対象として

博物館少年少女の会は次の様な規則により運営致します

- 1 この会は「博物館少年少女の会」といいます
- 2 この会は博物館に親しみ、自然物について楽しく勉強する会です
- 3 この会には小学校5,6年生及び中学校1,2,3年生の希望者が参加します
- 4 入会の申込は学校単位でグループ10名までを作り、代表者をきめて申込を争にします
- 5 会員は毎月少年少女のつどいに参加出来ます
- 6 この会は福井市郷土博物館が運営します
- 7 この会の仕事は単位グループの指導の先生及び会員の代表者若干名を選び、その意見によつて行います